

平成28年度の小地域懇談会は、東福原一自治会が10月27日に東福原一集会所、日ノ出・日ノ出一自治会が11月11日に啓成公民館、錦一・錦二・1・錦二・2・米原三自治会が11月15日にふれあいの里にて開催されました。

各会では、まず啓成小学校、東山中学校の先生が学校での取り組みを発表されました。

今回は人権政策課おすすめの「それってあたりまえじゃない」と題した、履歴書の項目のカードを使ったワークショップを行いました。各グループでの司会や記録を決めず、また、最後の発表も行いませんでした。参加された皆さんが楽しそうに、また、活発に意見交換をされていました。

小地域懇談会では、世代を超えてごつくばらんに話をするのを大切にしています。そしてPTA世代の方にもっとご参加いただきたいと思っております。

このたび参加された方の中から、お二人に原稿をお寄せいただきました。

人権について

日ノ出一 宮田 淳二

今から十数年前、私の職業を否定される出来事がありました。

それは、娘が小学校高学年のとき、授業の中で担任教師が「職業について」の話で、娘を名指しで私の職業を否定されました。今では考えられない教師から生徒への差別「いじめ」だと思います。

当時の娘の心中を思うと・・・

最近、新聞・テレビ等で学校・職場等で「いじめ」の問題がとりざたされています。理由は色々あるかと考えられますが、要は単純に「自分がされて嫌なこと」は、「人にしてはならないこと」ではないかと思えます。

自らの発言、行動に自戒をしながら、地域の活動に少しでも貢献できたらと思う今日この頃です。

小地域懇談会に参加して

錦二-1 友松 由加利

何をするのかと、少し不安な気持ちで会場に行きました。

知っている方も何人かいらしたのですが、近くの町内といっても、初めて拝見するお顔もありました。小地域懇談会では、現在使われている履歴書について、どんな項目があるのか、六、七人のグループで話し合いをしました。少ない人数でもいろいろな意見があり、時間がたつのが早く感じられました。

懇談会の中で話し合われる内容もとても大事ですが、その場所ではない人同士が意見を話し合いお互いを知るといふ、人と人のつながりができる事が、人間関係が希薄になっている中で、人権のあるべきところではないかと思いました。

